



## 祝 辞

北海道教育委員会教育長 佐藤 嘉大  
(北海道教育庁渡島教育局長 五十嵐 晋)

第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会の開会に当たり、本来であれば、北海道教育委員会 佐藤教育長がご挨拶申し上げるところであります。所用により出席できないことから、私、北海道教育庁渡島教育局 五十嵐が皆様へ一言ご挨拶を申し上げます。

まず、はじめに、この度の北海道胆振東部地震により、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。また、今回の震災に当たり、全国の多くの皆様方からご支援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

お集まりの校長先生方におかれましては、全国各地において教育課題の解決に向け、組織的・継続的に研究を積み重ねるとともに、各地域における小学校教育の改善・充実にご尽力いただいておりますことに敬意を表する次第であります。

さて、少子高齢化、人口減少、グローバル化、高度情報化など、社会の変化が我々の予想を超えており、これからの地域を支える人材の育成を担う教育の役割がますます重要になっています。

そのため、各学校では、これまでの教育実践を引き継ぎつつ、教育活動の一層の充実を図ることが求められております。

昨年3月に告示されました学習指導要領では、それぞれの学校において、どのような資質・能力を身に付けるかを教育課程に明確化し、社会と連携・協働して、その実現を図っていくという「社会に開かれた教育課程」を進めることが求められました。

また、これからの時代に求められる資質・能力の育成のための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や教育課程に基づき組織的・計画的に評価・改善し、教育活動の質を向上させるカリキュラム・マネジメントの確立に努めることも示されました。

これらを実現するためには、まず学校の組織としての実行力を強化することが必要であり、校長は学校のビジョンを示し、そのビジョンに到達するための組織を整備し、具体的な方策を立案するなど、学校の組織としての方向性を明確にすることが必須であります。加えて、校長には到達に向けておられることなく、やりぬく気概とねばり強さもまた重要であります。

このような中、本研究大会が「新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す 小学校教育の推進」を大会主題に掲げ、学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくりや子どもたちの知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの在り方、家庭や地域と連携を図った特色ある教育活動を展開する学校づくりの推進などについて協議を深められますことは、誠に意義深く、積極的な実践交流を通して、多くの成果が得られますことをご期待申し上げます。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係の皆様方に心から敬意を表しますとともに、全国連合小学校長会並びに北海道小学校長会の一層のご発展と会員の皆様方のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、挨拶といたします。